

防災放送アナウンストレーニングシステムの開発

～生理学・音響学・心理学・芸術的アプローチ～

令和4年8月2日(火) 14:00～15:30 (13:30～受付)

石川県立生涯学習センター能登分室 講義室

(のと里山空港ターミナルビル4階)

定員36名、受講料無料 ※予約受付のみ。定員に達した時点で締切

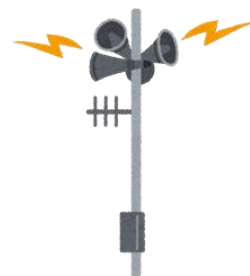
講師 金沢工業大学情報フロンティア学部 メディア情報学科 准教授
高野 佐代子 氏 (博士・工学)

セミナーに参加される皆様へ

- ①受講される場合は、マスクの着用をお願いいたします。
- ②受付時に検温と健康状態の確認をお願いしております。
下記の場合は受講できませんので、ご了承ください。

- 37.5 度以上の発熱があった場合
- 息苦しさ(呼吸困難)・強いだるさがある場合
- 軽度であっても咳・咽頭痛などの症状がある場合

- ③会場入室時に、手指消毒をお願いします。
- ④座席の移動はご遠慮ください。(座席指定です。)



講演概要

日本は災害大国であり、また市町村が比較的集中しており、古くから主に防災無線が活用されています。この防災無線は、プロとしての訓練を受けたアナウンサーではなく、役場などの職員が代表として行っている場合が多いです。

防災放送に関しては、従来から音響的な観点から、マイクやスピーカーの性能改善や、距離による減衰や山や雪などの環境による音への影響など、数多くの研究がなされてきました。一方で、これらの特性が比較的効果的に改善されてきた現在、発話者自身の効果的な発話が求められています。

このようなことから、我々は地方などの防災放送の改善を目指し、合成音声による感情表現の改善、トレーニングシステムの開発を行い、特に声帯・口腔・表情の運動を含む生理学、工学的な信号処理および合成、また聴覚心理学的な側面からの評価を行っています。

さらに一般の方の音声発話の改善を目指し、芸能の現場の声優や演技のボイストレーナーとともに、最新技術を用いた面からの開発を行っています。

今回、そうした成果を紹介します。

【申込・問い合わせ先】 電話:076-223-9573

Eメール:manabi-r@pref.ishikawa.lg.jp FAX:076-223-9585

7月26日(火)迄にFAXかEメールで講演会名(第1回 ICTセミナーと記入)・お名前・電話番号をお知らせ下さい。石川県視聴覚教育協議会事務局 〒920-0935 金沢市石引4丁目17番1号
石川県立生涯学習センター 学習情報グループ内 (石川県本多の森庁舎2F)

主催:石川県視聴覚教育協議会 共催:石川県立生涯学習センター